

10月11日(金)

お友だちと楽しく体を動かしています！

くま組

遊戯場に運動遊具を設定すると遊具に登ったり跳んだりして体を動かして遊ぶことを楽しんでいます。成長に合わせて遊具の高さを高くし、挑戦できるような配慮もしています。保育者に手助けをしてもらいながら「できた！」という達成感を味わっているようです。

春に比べて体力がつき、運動能力も高くなってきた子どもたち。遊戯場で遊ぶ際の遊具を少し高くし設定してみると、子どもたちはいつもより高い遊具に少し戸惑っていましたが、しかし、お友だちが遊んでいる姿を見て刺激をもらい「やってみよう！」と一人で頑張る姿や保育者に支えてもらいながら登る姿が見られるようになりました。保育者も子どもたちが怖くないよう「上手だね」「近くいるからね！」と伝えることで安心して遊ぶ姿が見られました。



保育者に支えてもらいながらも自分で頑張って登っています



<シンキングのはしご>

<ジャングルジム>



ちょっと不安な表情も…

<平均台>

遊んでいる中で少しずつ体の使い方を覚える子どもたち。保育者に近くで見守ってもらい支えてもらわなくても一人で登れるようになっていました。最初は少し怖がる表情があった子も最後まで登り終わると、とても楽しそうに笑って「できたよ」と嬉しそうな表情を浮かべて遊んでいました。



<マットのお山>



<すべり台>



仲良くぶらーん！



<鉄棒>

お友だちと「一緒にしよう」と誘う姿も見られました。

今後も遊びを通して子どもたちと触れ合い体を動かしていけたらいいなと思っています。